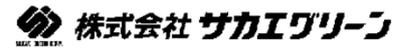


お客様各位

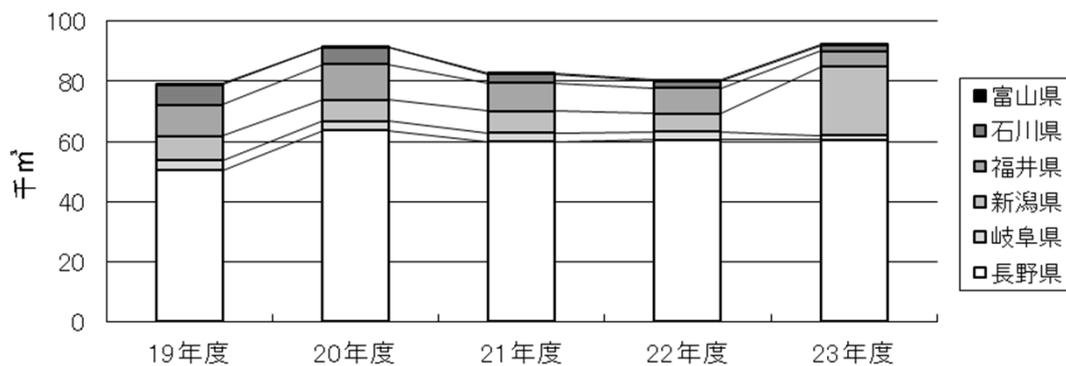


近県の松くい虫被害の傾向について

松くい虫被害（マツ材線虫病）の被害状況は、例年8月に前年度分が林野庁により取りまとめられ発表されています。平成24年8月31日に発表されたデータによると、平成23年度は全体としては前年度より11%増となり、特に新潟県では3.8倍、島根県では約4.9倍と激増した地域もありました。なお富山県は全国的にみても被害の少ない県ですが、これは県内のマツが量的に少なく、また不連続であることが関係していると言われてています。

平成24年度の被害状況はまだ正式には発表されていませんが、富山県では9月末現在で0.5千 m^3 を超え（525 m^3 ）、昨年（387 m^3 ）を上回ったとされています（北日本新聞，H24.12.26掲載）。

富山近県の松くい虫被害量(被害材積)の推移



単位: 千 m^3

	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	対前年比
富山県	0.4	0.3	0.4	0.4	0.4	100%
石川県	6.8	5.5	2.9	2.3	1.8	75%
福井県	10.4	11.9	9.5	8.5	5.2	62%
新潟県	8	7.1	7.2	6	22.9	380%
岐阜県	3.3	3.1	2.8	2.7	1.5	57%
長野県	50.4	63.6	60	60.5	60.5	100%

県内の海岸林でも松枯れが相次いでおり、高速道路を走行していても小杉や黒部付近などで被害が目立ちます。枯れたマツは順次伐採されていますが、管理の行き届かない所などでは放置される可能性も高く、そうなれば今年、そこから羽化したマツノマダラカミキリによって新たに被害が拡大することも考えられます。健全な松には樹幹注入剤による予防対策を強くお勧めいたします。

庭園木など剪定されているマツは自然木と比べて薬量が少なく、施工にはいくつかの注意点がございます。施工の際には弊社までご相談いただきますようお願いいたします。

◆商品案内◆



グリーンガード・NEO（酒石酸モランテル剤）90ml/本

- 高い防除効果の「グリーンガード」シリーズは、松枯れ予防剤の中でもトップシェアを誇っています。
- 樹体に直接注入するので、ドリフトなどの心配がありません。
- 一度施工すると予防効果は6年間持続します。
- 従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工でき、薬効の持続期間も長くなりました。

メーカー希望価格: 2,600円/本